

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 10 月度理事会議事録

平成 23 年 10 月 19 日（水）午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 39 クラブ(欠席 2 クラブ)

池田協会長挨拶

- ・釣りシーズンまっただ中ですが、大物申請が少し減って来ております。年末まで後 2 ヶ月となりましたが、皆さん頑張って釣りを楽しんで頂きたいと思っております。
- ・藤原副会長を議長として、午後 7 時 04 分議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟本部役員会報告（池田協会長）

（連盟議事録より転載）

日時：平成 23 年 10 月 5 日（水）16 時 01 分～17 時 52 分

場所：新大阪丸ビル新館 5 階 500 号会議室

■審議 1

全日本キャスティング選手権大会 PT 香川協会 松井 PT 責任者

- ・大会プログラムの作成および用具の点検についてすべて整っております。
- ・当日については、A コートに本部席を設置し、競技は 2、4、6 種目と 5 種目の A、B および女性種目とポイント種目をおこないます。B コートは、1、3 種目と S T-A および B 種目をおこないます。
- ・当日の欠席者によるメンバー変更は、欠席者と同じ種目に限って認めます。
- ・計測審判員については、補欠審判員が不足のため、交替を含めて計測担当者間で調整しておこなってください。尚、公認審判員の方は必ず審判員バッジを着けてください。
- ・台湾選手団の参加は当初 6 名だったが 5 名となり、宿泊についても今回初めてのホテルである旨の変更連絡があり、蕁広島協会長が広島空港まで迎えに行くことにした。尚、17 日（月）の見送りは、空港まで連盟会長と蕁広島協会長の二人がおこなう。
- ・今大会の予算では赤字運営が予測される。したがって今まで二基設置していた仮設トイレを一基にする。

■審議 2

第 95 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会 PT 徳島協会 塩田 PT 責任者

- ・参加バッジのデザインに 2 点の応募がありました。作品を①②として回覧しているので、どちらか 1 点を選出願います。

大石副議長

- ・①または②のいずれを採用するか挙手でお願いします。
- ・①が挙手多数と認め採用いたします。作品の提出者二点をご紹介ください。

塩田 PT 責任者

- ・採用作品の提出者は広島協会・えのみやサーフ・宇野総一さんです。また佳作となりました作品の提出者は大阪協会・大阪釣友会・広瀬益美さんです。

渡部広報部長

- ・宇野さんには金バッジと全日本サーフオリジナルボールペン。佳作の広瀬さんにはオリジナルボールペンを進呈いたします。

■審議 3

大物・特別大物バッジについて 大物部 としだ大物部長

- ・同バッジの製作会社である早川徽章から、原材料の不足および高騰により、従来の多色加工であったバッジを単色に変更しないと今後の要望にお応えできない旨の連絡があった。

連盟会長

- ・上記案件は製造に関する問題であり、変わる物も無い現状なので認めざるを得ない。これ以外にも従来から論議されてきた大物バッジの発行規定見直しについても 11 月の常任理事会から

本格審議をおこなう必要がある。

■審議 4

事務連絡

大田事務局長

- ・連盟会長・副会長・協会長・本部役員会議（略・年末会議）に提出する懸案事項がありましたら、11 月常任理事会（9 日）までに提出（メールが最適）願います。尚、期日を過ぎたものは受付いたしませんのでご注意ください。

宗貞事務局次長

- ・9 月常任理事会で各協会にお願いしている会員登録の方法についての件ですが、改めて本部提案として年末会議の議題としていただきたい。

池田大物部次長

- ・事務局から大物部に提供いただいている会員登録名簿の中で氏名の仮名は「フリガナ」になっています。一方大物ソフトでは、仮名は「ひらがな」を採用したシステムになっています。したがって「カタカナ」から「ひらがな」に名簿修正をしていますが今後は事務局でも、仮名は「ひらがな」にしていいただければありがたい。尚、大物部の方でも、管理する名簿の「ふりがな」部分を一齐に「カタカナ」に変換できないか、システム開発会社のアイクラフトに相談してみます。どちらを採用するかはその結果次第で結構です。

宗貞事務局次長

- ・上記に関してですが、会員登録の基礎部分はすべて協会からの名簿提出によるものであります。次年度からは大物部の結果を待ちまして仮名はどちらかに統一するよう、要請いたします。

渡辺兵庫協会長

- ・登録名簿に関連しますが、現在の登録名簿には、他協会または他クラブから移籍してきた方の前歴を記入する部分が無い。したがって役職名の欄に記入しているが今後も同様としておけば前歴については統一できる。

宗貞事務局次長

- ・ご指摘の部分は役職欄に記入していただければ結構です。但し、欄の枠が限られているので、移籍前の会員番号のみ記入していただければ前歴は全て識別できます。

-休憩-

■審議 5

20（ニイマル）委員会審議報告 大田事務局長

- ・本日 14 時から、第 7 回目の委員会を開催しました。現在までに会員カードの作成と投げ釣り手帳の簡素化を常任理事会に提案し、決議されております。本日の委員会では会議の開催数および全日本サーフの PR 活動プラス会員増を図る行事の開催や収入を図る策について審議しました。年末の会議ではこれらについて具体案の提出ができるよう、段取りをしております。

■審議 6

その他

クリーンアップについて 渡辺環境部長

- ・2011 年度 10 月 5 日現在の実施状況を一覧表としてまとめ配布いたします。報告によるとクリーンアップの事業は全協会の 76%が実施しており、中で二回以上実施しているのは本部・兵庫・広島・鳥取・三重でした。詳しくは配布一覧表またはホームページでご確認ください。
- ・関連として報告書に基づき、分析したい項目にチェックしていただく書類を協会担当者までメール送信いたします。担当者にはメールが届きましたら、期日までに環境部長まで回答メールを返信願います。

事故防止部より 薬師寺事故防止部長

- ・2011 年度事故防止講習会開催の予定および終了報告を一覧表として配布いたします。
- ・一覧表の中で大阪と徳島協会に事故防止部長の名前が違うとの指摘がありましたので、訂正いたします。大阪協会は高津光司氏。徳島協会は吉平富久氏であります。
- ・講習会の参加総数は 24%であったが、この目標値を 50%程度に置きたい。
- ・協会の中には行政の協力を得られないことから、実施を見送るとの連絡もあったが、自力で何

とか開催する努力もしてほしいと要請した。

- ・本部事故防止部から、協会当該部長の顔写真を含め数項目の書類提出を要請している。本日協会別として書類提出の有無をまとめチェックシートとして配布しております。各項目の中で○印をしてある箇所は提出いただいている。尚、講習会が開催済みにも関わらず未提出（一部）の協会は、岡山・中部・千葉・和歌山・大分（講習会は 10 月末）の計 6 協会である。再三再四の要請でもあり、担当部署には事務処理に大変手間取ります。

会員カードについて 大田事務局長

- ・カードは全日本サーフキャスティング連盟の会員であることの証しです。特に釣行時は携帯することを心がけるとともに、大切に取り扱い願います。
- ・お渡しは 11 月常任理事会に於いて協会単位でおこないます。（欠席は送付）
- ・配布対象は平成 23 年 9 月末時点の登録会員です。それ以降の方には来年の新規登録者に合わせて 3 月の発行といたします。
- ・紛失・毀損などの再発行は有料 1,000 円（20 枚以上の発行数として）を徴収いたします。
- ・カードの体裁はサイズを含めて見本（ペーパー）と同じです。裏面には各々で必要と思われる事項を記入できるようにしてあります。
- ・関連として携帯電話を通じて得られる情報は、日本記録（釣魚・SC）・大物（特別・スーパー）対象魚表彰基準寸法・潮見表です。尚、潮見表の閲覧操作は〔メニュー→潮見表→全国都道府県→知りたい地域→当月当日の潮時情報〕の要領です。

帷企画部長

- ・会員カード発行に伴い、簡素化して発行する投げ釣り手帳（見本）の中に大物・特別大物獲得者の一覧表が掲載されていない。

としだ大物部長

- ・指摘の一覧表は大物規定でも、投げ釣り手帳に記載するとなっている。

連盟会長

- ・大物規定を確認して検討する。

キス段位制について 帷企画部長（段位制担当）

- ・制度発足から現在まで級位獲得に留まっていたが、近々には初段獲得者も出てくる状況であります。それに伴い「段位認定申請書」を作成しました。本日見本として配布した様式で良ければ連盟マークを付けてホームページからダウンロードできるよう取り計らいます。
- ・本会は企画部長の提出書類を了承する

トップキャスターズについて 松井 SC 部長

- ・参加申し込みについて主催者側（JSCF）と全日本サーフの合意事項は連盟本部を通じておこなうとなっております。
- ・各協会内で、同大会に参加希望の会員さんがいた場合、全日本サーフホームページの各種申請書→「他団体主催参加申込書」に必要事項を記入して本部 SC 部長まで提出願います。尚、主催者側の容認する人数以上の申込があった場合は、連盟・協会主催 SC 大会の成績を参考にさせていただきます。また、年間を通じて一度も SC 大会に参加していない方の推薦はおこなわない場合もあります。

野村会計部長

- ・東日本大震災に於ける義援金の納金は 10 月末となっておりますが 5 日の時点で、岡山・愛知・北海道・北陸・和歌山の 5 協会以外は納金となっております。期日までに 5 協会から登録数ほどの納金があれば結果として登録数以上に供出いただいた協会もあり、概ね 20 万ほどのプラスになります。
- ・震災直後に本部から緊急支援物資を送りましたが直後であることから、会計を助成金扱いとしておりました。会計帳簿を明確にするため、震災義援金を扱う会計に移します。

大物 300 号について としだ大物部長

- ・岡山協会、岡山シースターに所属する斉藤健一氏は、9 月 28 日高知県室戸市に於いてキュウセンの D ランクを釣り、大物 300 号を達成されました。
- ・先に 300 号を達成した八尾氏のヒラメですが、このたび剥製が完成したと製作会社より連絡が

ありました。

連盟会長

- ・移動（送付）に際しては慎重に扱うべき品物です。また、全日本サーフ初の達成でもあり、大勢に披露し、祝っていただくには新年総会の方が相応しい。したがって製作会社には時期まで保管していただけるか打診してみてください。

池田大物部次長

- ・大物 300 号の釣魚は所属協会長の現認を受けると連盟会議で話し合われたと思う。この際、その文言を大物規定に追記しておいたほうが賢明と思う。

帷企画部長

- ・詳細な説明では無いが、昨年 9 月の常任理事会に於いて大物 300 号について部会で審議した旨の報告が議事録に掲載されている。部会での審議内容を当方のノートで確認してみると、遠隔地の釣り場を考慮すると 300 号達成魚は「日本記録実寸確認委員の現認を受ける」のみで良く、申請についても通常の大物申請に実寸確認委員の書類を添えていけば可と記入している。

出席役員

- ・300 号については上記内容を整理して大物規定に追記するのがベストであると意見統一された。（11 月常任理事会でも報告する）

大物申請数について 池田大物部次長

- ・9 月末現在の申請件数は 14,292 件でした。この数字は昨年同期に比べ 13%ほど減であります。このまま推移すると今期の申請件数は若干少なくなることが予測される。尚、この時点の申請数ベストスリー協会は大阪協会、兵庫協会、愛媛協会の順であります。詳しくはホームページ大物ニュース速報のコーナーでご確認ください。

第 2 号議案 第 130 回協会秋季大会について（PT 貝塚サーフ）

- ・各会場ごとの参加者数、会場担当クラブ、審査立会クラブの最終報告を行った。
- ・会場での釣場・審査等の写真等を撮られましたら、広報部に提出下さい。

第 3 号議案 全日本 SC 選手権大会結果報告（沢田広報部長）

- ・広島開催された結果について報告があった、当日は好天に恵まれ日本記録も多数出たが、大阪協会の選手は、残念ながら日頃の実力は発揮できなかった。

第 4 号議案 第 95 回全日本カレイについて（事務局）

- ・先月申込をして頂いた内容について集計を行い、プロジェクトに送付した。当日は、頑張っていたきたい。
- ・大阪協会での会場ごとの参加状況報告を行った。

第 5 号議案 大物名人戦について（湯浅大物部長）

- ・先月配布した要項からの変更点の説明があり
 - ① 釣場を境水道から鳥取・島根一帯とする
 - ② 受付場所をカニカゴ岸壁に変更する
 - ③ 検寸は、S 割方式とする
- ・大物 C ダービーの最終であり、残りは秋季大会の上位 5 位が決まれば 41 名が確定する。
- ・エントリーシートの見本を配布しているので、11 月理事会で参加申込をしてほしい。
- ・エントリー後の変更は認めない。集合時間に間に合わない選手は、大物部長まで連絡すること。
- ・名人戦に参加出来ない会員の当日の釣開始時間に対して議論し、採決の結果、要項通りにすることになった。

第 6 号議案 大阪・兵庫合同納竿大会について（事務局）

- ・参加状況の報告を行った。本日が締切なので、会議終了までに申込をして下さい。

第 7 号議案 連盟への協会提出議題について（池田協会長）

- ・先月の理事会にて、意見を募集したが、大物システム改修と大会バッチの廃止の 2 点の意見が出ましたが、他にあれば意見を出してほしい。
- ・他に意見がなかったので、2 点を提案事項とすることに決定される。

第 8 号議案 来年度の年会費について

- ・大阪協会会員の次年度の年会費については、1 人当たり 500 円を値上げする旨の報告を行った。女性・少年についても、同様とする。

その他

- ・協会記録の報告があった
魚名 ウスバハギ 実寸 60.0 cm 拓寸 63.0 cm
釣人 滋賀投友会 山本氏 釣日 10 月 2 日
釣場 愛媛県 津下にて
- ・大物バッチについて、原料の高騰により現在の値段では今後作成出来ないとの問題が発生している、使っている色を 1 色であれば作れるが、バッチ代は値上げになる可能性がある。
今後どうするかの意見があれば聞かせてほしい、
意見として、バッチの廃止の意見が大多数を占めた

午後 8 時 50 分閉会